

タンジュンプリオク港アクセス道路建設計画（第一期）【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 27 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア
(2) 案件名	タンジュンプリオク港アクセス道路建設計画（第一期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、 供与条件など を含む	<p>ジャカルタ近郊からタンジュンプリオク港へのアクセス改善と高速道路のネットワーク及びバイパス機能を改善し、同地域の交通渋滞を緩和し、もってジャワ地域の投資環境改善に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成 17 年 3 月 29 日 イ 供与限度額：263.06 億円 ウ 金利：0.4% エ 償還（据置）期間：40（10）年 オ 調達条件：日本タイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>2003 年においてタンジュンプリオク港近辺では約 47～97 千 PCU/日（注）の断面交通量であり、計画当初、2025 年には約 113～210 千 PCU/日に増加することが予測されており、現在においてもタンジュンプリオク港付近の渋滞状況は深刻化していることから、本事業に関する社会的ニーズは引き続き大きいと考えられる。</p> <p>（注）PCU/日：一日あたりの乗用車換算台数</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>コンサルタント調達の調達手続きの遅延や用地取得の遅延が発生したが、現在、事業は順調に進められている。</p>

<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく、事業完了後は当初予定通りの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決したことから、引き続き支援を継続していく。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料